

CIP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田サミュエル卓也 (サム)

学生時代



日本では新学年が始まったばかりですが、ニュージーランドの新学年は全く違う時期に始まるのをご存知ですか？ 実は、高校を卒業したのが6年半前（11月）、大学を卒業したのが3年前（4月）です。最近、知り合いの卒業式や入学式の写真が流れてきたので、自分の学生時代を思い出しました。今月のニュースレターでは、日本とニュージーランドの入学式、卒業式、休みなどの違いについてお話したいと思います。

ニュージーランドの学校は8週間から11週間の4学期制で、4月、6月、9月に2週間の休みがあり、12月から6週間の休みがあります。大学の休みはコースによってもっと長くなります。ニュージーランドでは高校は11月、大学は10月に試験シーズンで、大体の人が半月か1ヶ月で終わって休みに入ります。それから高校は2月の中旬まで、大学は2月下旬まで休みです。また、ニュージーランドは日本と違って休み中の宿題がほとんどないです。

小学校3年生



高校のスピーチコンペ

高校の卒業式



日本の高校は3年ですが、ニュージーランドの高校は5年です。13歳で高校に入学しますが、大学の受験勉強は15歳（高校3年生）から始まります。大学は、日本と違って、4年じゃなくて3年で卒業ができます。しかし、ニュージーランドでは途中で一年休学したり、もっといい就職ができるように一年長く勉強する人も多いです。

日本では春に学校が始まり、春に終わりますが、ニュージーランドは夏に始まり、夏に終わります。日本の面白いところは、4月の前後に生まれただけで、学年が変わるところです。4月以降に生まれた人は、基本的に次の年まで入学ができません。ニュージーランドでは入学を5歳とするか、6歳とするか選べるし、その年になってから、すぐ次の学期から学校に行けます。私の誕生日は7月12日で、ニュージーランドの冬休みのど真ん中にあるので、5歳になって、次の週に学校を通い始めました。

ニュージーランドの高校の入学式では、ホールに集まり、高校5年生たちに教えてもらいながら学校のハカや歌を練習しました。その後、家族や学校の先生方の前で演技して、最後にフォーマルな話（オープニング、ウエルカムなど）をしました。

ニュージーランドの高校卒業時期で面白いのは、学校最後の一週か2週間に毎日ゲームやドレスアップを楽しむ習慣があることです。パジャマデー、マッチングデー、90'sデー、Senior Prank（先生にいたずらをする）、Water Fight（水鉄砲合戦）などのテーマがありました。私の学年のSenior Prankでは、みんなで風船を先生の車に入れ、外側をサランラップで包みました。卒業式が最後の大学受験の前に行われますので、少しでも楽しめるようにこの習慣が始まったのかもしれない。最終日には卒業証書が手渡され、成績優秀者にはトロフィーや奨学金が授与されます。

大学の卒業式



日本の大学の卒業式ではスーツや着物を着るのが一般的ですが、ニュージーランドと多くの欧米諸国では、正装の上にキャップ&ガウンを着用するのが普通です。コロナのせいで私の卒業式は中止になってしまいました。年に何回か式を上げますが、日本に引っ越すため行けませんでした。それで4月にキャップ&ガウンだけを借りて、1人で写真を撮りました。

Water Fight



日本とニュージーランドの学校制度には多くの違いがあり、新しいことを知る機会があるといつも面白い話になります。今回はいくつかのことしか話せなかったけど、またいつか別の記事でカリキュラムや部活など、いろいろなことについて話したいと思います。

FacebookやInstagramで香取市での生活や観光、ニュージーランドの文化など英語と日本語で発信しています。見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非Facebook・Instagram・3階の商工観光課にてお声掛けください!

